SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：NOK株式会社熊本事業場

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		NOK企業行動憲章に定めて社内で共有、実践しており、また CSRレポートとして外部発信を行っています。 NOK株式会社HP：http://www.nok.co.jp/csr/								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		NOK企業行動憲章を基本方針とした「コンプライアンス規程」にて個別法令担当部門を定めコンプライアンス活動の推進を行っています。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		「コンプライアンス規程」に定め社員に周知し定期的な教育を行っております。 全従業員にコンプライアンス入門の小冊子を配布し、社内報へも連載企画「コンプライアンスのすすめ」を掲載し継続的な意識付けに取り組んでいます。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		「コンプライアンス規程」にて個別担当部門を定め、各担当業務においてコンプライアンス活動の推進を行うとともに、各関係法令・社内規則・社内規定等に関する相談窓口として整備し対応しています。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		「コンプライアンス規程」に定め知的財産保護にも取り組んでいます。 また、設問3の通り従業員への周知・意識付けを行っています。								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		「コンプライアンス規程」に定め個人情報保護にも取り組んでいます。 また、設問3の通り従業員への周知・意識付けを行っています。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		株主・投資家とのコミュニケーションとしては、決算説明会を2回/年行っております。 決算説明会では、証券会社のアナリスト、期間投資家、調査機関関係者、報道関係者、金融機関関係者を招き決算見通しの説明と質疑応答を実施しプレゼンテーション資料はHPで公開しています。 また、地域社会は重要なステークホルダーの一つとして考えており、地域社会から地元の企業として愛され信頼され、誇りに感じてもらいながら一緒に発展していくことを目指しております。																	16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	NOKでは、「NOKグループ調達方針」を制定し、仕入先の皆様との調達活動を行っていますが、併せて当社の「企業行動憲章」「CSR調達ガイドラン」及び「NOKグループグリーン調達ガイドライン」を尊重いただき、公平・公正で、社会や環境への影響を配慮した調達活動と持続可能な社会の実現に向けて、サプライチェーン全体で取り組んでおります。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	事業継続マネジメント体制を構築し活動推進しています。 事業継続マニュアル基づき各種対応基準を作成しBCP訓練（避難訓練・机上訓練等）や基準類の定期見直しを行っています。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		NOKの企業行動原則で「人権の尊重と安全で働きやすい職場環境の確保」を掲げ,従業員コンプライアンス行動指針で多様性・人格・個性を尊重し、人種、肌な色、信条、宗教、国籍、年齢、性別、性的指向、性自認、出身、心身の障害などに基づく差別を行ったり、この事での差別を許さず、 また、個人の尊厳を傷つけたり、不利益や脅威を与える等のハラスメント行為を許さない事を進めております。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		NOKグループでは「人間尊重」を経営理念とし、安全はその大前提であると考え、安全意識の向上と徹底、労働災害の撲滅を図るため、安全基本理念「安全は人間尊重経営の礎　私の願い、私の使命」のもと従業員一丸となって安全活動を推進しています。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		正規、非正規間の不合理な待遇差の禁止というルールを更に強化するため関係規定の見直しを行いました。 例）時間外割増率、有給休暇の付与、特別休暇取得・休職、家族手当、有給休暇の半日取得等					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		NOKでは人間尊重経営の一環として、働きがいのある仕事とゆとりある生活が両立する職場環境の実現に取り組んでいます。 具体的には、柔軟な働き方や多様な働き方として、フレックスタイム、テレワーク、育児・介護休暇関係制度等の実施・拡充、労働時間の短縮のための時間外労働時間の上限の低減、有給休暇取得推進等を検討・実施しています。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：NOK株式会社熊本事業場

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
労働・人権	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		人材育成プログラムを階層別教育と育成・専門教育で構成しています。具体的には、階層別教育では、対象者に自分の役割と会社からの期待を正しく認識させ、「働きがい」と「成長」を実感出来る教育を行っています。 また、育成・専門教育は、業務遂行に必要なスキル習得教育として「ビジネススキル教育」「グローバル人材育成教育」等を中心に教育を進めております。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		心と体の健康活動として、メンタルヘルスに関する取組としては、セルフケア・ラインケア・社内産業保健スタッフによるケアに加え、臨床心理士の個別面談を取り入れカウンセリング体制の整備しております。（社外専門機関による24時間無料電話相談窓口も合わせて設置） また、健康増進への取組としては、産業医と連携し生活習慣病防止指導や当社のアスリート従業員による手軽なストレッチや筋トレの講習会も開催し、楽しんで健康増資が出来るよう推進しております。			3					8										17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		NOKグループでは、性別・人種・国籍等を問わず、多種多様な人材を採用し登用する事を基本とし国内外各拠点間で経営幹部、技術・製造・営業・事務部門等において交流を図り、各部門の人材育成、業務の質・効率の向上等の活性化を行っております。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	新型コロナウイルス対応としてテレワークが出来る体制の整備を行い、他事業場や顧客ともWEB会議を基本とした活動を行っています。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●									8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	熊本県のブライト企業として2019年に認定されています。 認定No19038			3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：NOK株式会社熊本事業場

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		NOKグループでは生産工程で使用・排出させる環境負荷物質を削減すると共に、製品ライフサイクル全体で化学物質を把握・管理し、サプライチェーン全体で環境負荷低減に貢献しております。 （ISO14001認証取得）			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		電気・ガス・燃料等と言ったエネルギーに関して使用量を把握し、環境保全活動計画で具体的に削減活動を立案し目標達成に向け活動を行っております。（具体的活動詳細はCSR報告書に記載）							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		エネルギー使用量から温室効果ガス排出量の把握を行い省エネ・省資源活動を通して温室効果ガスの発生抑制にも取り組んでおります。 （具体的活動詳細はCSR報告書に記載）		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		阿蘇市に工場立地している関係もありますが、阿蘇野焼きには立地地区の活動に参加させて頂き阿蘇の草原維持も貢献させて頂いております。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		NOKでは循環型社会の実現の為、3R活動を進めております。 製品ライフサイクル全体を通じて、原材料や水、エネルギーなどの資源を効率的に利用し各工程の改善を行うことで発生する廃棄物の削減・再生資源化に取り組み等行っております。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		くまもと地下水団体が行っている水田オーナー制度に登録し地下水涵養活動を行っております。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		NOKクリーン調達ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝを規定し購入品（原材料・部品・副資材等）環境負荷の少ない物品の購入を行っております。 また、環境配慮した製品の開発にも取り組んでおります。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	災害用備蓄品（食品等）に関しては、消費期限前（3ヵ月程度）の入れ替えを実施し、地域のフードバンクへ寄付を行っています。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	2021年度九州電力さんの再エネECOプランの契約を行いCO2削減が望める電力料金プランへ一部置換えを行いました。 （21年度使用電力の約25％を再エネ電力契約を結びました。）							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	昨年迄は「NOK Twin Green Plan2030」として2018年度対比CO2排出量30％減の目標で活動を行っておりましたが、昨今の世界の潮流の変化や国の脱炭素目標の表明を受け2021年度よりカーボンニュートラル分科会を立上げCO2実質排出ゼロに向けて活動を開始しております。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：NOK株式会社熊本事業場

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		お客様の要望に見合う製品を供給し続けていくため、ISO9001、ISO14001など、国際規格に基づいて品質・環境マネジメントシステムを確立・運用し、継続的な改善に取り組んでいます。			3.9						9			12.4					
製品・サービス	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		様々なユニバーサルデザイン思想に基ずき設計・製造された商品へのシール部品の提供を行っております。 とりわけ自動車には多くのNOKグループ製品が採用されており、高機能かつ環境に配慮した製品で、皆さまの安全で快適な暮らしを支えています。									9.1	10	11.7						17
製品・サービス	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	社内食堂で使用する食材は熊本県産の物を利用するようにしております。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
製品・サービス	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
製品・サービス	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		事業場の夏祭り開催時は、構内を開放し地域住民を招待し親睦を深めております。 昨年の人吉・球磨地域の豪雨災害時には、企業ボランティアとして復興活動支援等を行いました。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
持続可能な社会・地方創生	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		BCM基準を作成し事前対策に関する手順の整備や防災訓練等定期的に実施。				4							11.5		13.1			16	
持続可能な社会・地方創生	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	従業員の中には地域での消防団活動を行っている社員もおります。 社内の活動としては、自衛消防隊を編成し初期消火訓練（消火栓放水・消火器訓練等）を行っております。 AEDを設置しており従業員には使用訓練を行っております。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
持続可能な社会・地方創生	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
持続可能な社会・地方創生	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	SDGsに関する教育・研修を実施し、普及・啓発を行っております。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
持続可能な社会・地方創生	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	インターンシップや工場見学の受け入れを行っております。				4				8.6		10.2							17
持続可能な社会・地方創生	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	毎年県内（地元）の高校・大学等へは採用活動を行っており、毎年3～5名程度採用しております。				4.4				8.5 8.6									17
持続可能な社会・地方創生	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。